<p>報告内容</p>	<p>第26回: 警4、警5施策の受託者報告 第27回: 交通制約者・歩行支援システム進捗報告 平成28年度施策提案 第28回: 実証実験計画案について 平成27年度施策中間報告</p>
<p>WGの主な議論</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警4施策(PTPSの高度化)について: 重要交差点ではバスだけを優先できない状況もあり、どこにPTPSを入れるかは検討課題。東京臨海部を想定した具体的な検討を今後進める。 ・警5施策(PICSの高度化)について: 歩行者端末としてスマホを想定すると、まずパスコードを入れる必要があり、ワンプッシュではできない。 画像センサーで横断中の歩行者を認識する方式は、煩わしさはないが、交通制約者か否かを判定するのは難しい。 ・歩行支援システムについて: データフォーマット等のオープン化が必要。ハンディキャッパーだけを対象にすると市場が小さい。 ・平成28年度施策提案: 成果の出口として、五輪もしくは東京都だけでなく、東京以外の場所や海外も含めて計画を立てるべき。情報センターは、車両情報を有効に活用して、インフラの管理情報にも活用できるようにしてほしい。 ・平成27年度施策中間報告: PTPS車載器側での優先権調停はバスの交差点に対する相対的な位置関係の特定精度が課題。混雑予測に関しては、交通系データだけでなく、SNS情報の活用を考えるべき。五輪組織委の輸送グループの活動と重複しないように調整が必要。
<p>今後の進め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度施策については、中間報告での指摘事項を踏まえて、最終報告に反映する。 ・平成28年度施策と大規模実証実験計画についても、WGでの議論を計画案に反映する。